

## PRIMERGY BX300 マネジメントブレード使用上の注意

このたびは、弊社の PRIMERGY (プライマジー) BX300 をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。本マネジメントブレードをご使用になる上での注意事項がございますので、本書をよくお読みの上ご使用願います。

平成 15 年 1 月  
富士通株式会社

### マネジメントブレードのファームウェア版数について

本マネジメントブレードに適用されているファームウェア版数は V1.24 版以降になります。本マネジメントブレードをご使用になる前に、以下の注意事項を必ずご確認ください。

### マネジメントブレードのマニュアルについて

本マネジメントブレードではファームウェア版数のバージョンアップに伴い、新機能追加及び仕様変更を行っておりますので、ご使用になる場合は、「PRIMERGY BX300 ハードウェアガイド マネジメントブレード編(B7FH-1181-01)」を参照願います。つきましては、以下の URL よりマニュアル(B7FH-1181-01)をダウンロードしてください。

<http://primeserver.fujitsu.com/primergy/>

## 1. マネジメントブレード使用時の注意事項

本マネジメントブレードでは、「PRIMERGY BX300 使用上の注意(B7FH-A054-01)」において記述されているマネジメントブレードの注意事項に比べ、以下の事項が解除されております。

### 1.1 マネジメントブレードの冗長化機能

本マネジメントブレードでは冗長化機能をサポートしています。冗長化機能をご使用になる場合は、マニュアル(B7FH-1181-01)を参照願います。

#### 注意

**本マネジメントブレードとファームウェア版数異なるマネジメントブレードと組み合わせての冗長化機能はご使用できませんのでご注意ください。**

### 1.2 マネジメントブレードの Web UI へアクセス可能なブラウザ

Web UI で使用可能な Web ブラウザに一部制限がありましたが、本マネジメントブレードでは解除されております。

### 1.3 FAN ユニットの最大回転数の表示の誤りについて

マネジメントブレードの CLI 画面で FAN ユニットの回転数を確認する場合、System Current Maximum Speed(各 FAN の最大回転数)に誤った値を表示する場合がありますが、本マネジメントブレードでは正しく表示されます。

## 2. 仕様変更について

本マネジメントブレードでは、以前のファームウェア版数のマネジメントブレードに比べ、以下の仕様変更に伴う注意事項があります。

### 2.1 イベントログ上書き機能

本マネジメントブレードではイベントログが最大件数になっても古いイベントログから上書きする機能が追加されております。また、本機能を有効/無効に設定する Management Blade Wrap Around Event Log Enable 項目も合わせて追加されており、工場出荷時の設定は有効(Enable)となっています。

## 2.2 マネジメント LAN アクティブランプについて

本マネジメントブレードは LAN の状態を定期的に監視し、LAN の自己診断実行中にはマネジメント LAN アクティブランプが点滅する仕様に変更されています。そのため LAN ケーブルを接続しない場合や、ネットワークアクセスがない場合にも LAN アクティブランプが点滅する場合がありますが異常ではありません。

## 2.3 メイン電源の Web UI/CLI の操作について

本マネジメントブレードでは Web UI メニュー(Power Switch)および CLI メニュー(System Power Supply Control)のメイン電源の操作項目が、ACPI shutdown から graceful shutdown に変更されています。graceful shutdown をご使用になる場合は、サーバブレード側の対応も必要になります。詳細はマニュアル(B7FH-1181-01)を参照願います。

## 3. 新機能追加について

本マネジメントブレードでは、以下の新機能項目が追加されております。これらの新機能をご使用になる場合は、マニュアル(B7FH-1181-01)を参照願います。

**NIC ステータス検出機能**

**NTP クライアント機能**

**SSL 機能**

## 4. 未サポート機能について

本マネジメントブレードで以下の機能項目が追加されましたが、本項目は未サポートなため、ご使用になれません。

**UPS(System UPS)**

**Daylight Saving Time**

**Power Consumption**

**Modem Setting**

## 5. 交換時のマネジメントブレードの設定変更について

以前のファームウェア版数のマネジメントブレードから本マネジメントブレードに交換すると、新しく機能追加された項目の一部が工場出荷時の設定と異なるため、マネジメントブレードの交換後、CLI を使用して以下のマネジメントブレードの設定項目を確認及び変更していただくようお願い致します。

### 5.1 マネジメントブレードの設定変更項目について

下表のマネジメントブレードの設定項目を確認し、工場出荷時の設定と異なっている場合は、変更してください。  
マネジメントブレードの設定項目の確認及び変更方法は、「5.2 マネジメントブレードの設定変更方法について」をご確認願います。

| No | 項目                               | 工場出荷時設定       |
|----|----------------------------------|---------------|
| 1  | NIC Status Detection Timeout     | 120           |
| 2  | Wrap Around Event Log Enable     | enable        |
| 3  | Modem User Define Initial String | AT&FE0X3V1 *1 |

\*1:半角大文字で入力

## 5.2 マネジメントブレードの設定変更方法について

管理端末から CLI にログインし、以下の設定項目の確認及び変更を行ってください。

### (1) NIC Status Detection Timeout の設定変更

1. 以下のメニューから「(1) Management Agent」を選択してください。

```
+-----+
|                               Console Menu                               page_root
+-----+
(1) Management Agent
(2) Emergency Management Port
(3) Console Redirection
(4) TFTP upgrade
(5) Logout
(6) Reboot Management Blade
Enter selection:
```

2. 以下のメニューから「(3) System Information」を選択してください。

```
+-----+
|           Management Agent                                           page_1
+-----+
(1) Management Agent Information
(2) Management Blade
(3) System Information
(4) Server Blade
(5) Switch Blade
(6) Username And Password
(7) Blue Screen
(8) Event Log
(9) Set System Default
(10) Server Blade CMOS Backup/Restore
(11) Deployment Parameter
(12) Power Consumption
(13) Modem Setting
Enter selection or type (0) to quit:
```

3. 以下のメニューから「(8) NIC Status Detection」を選択してください。

```
+-----+
|           System Information                                           page_1_3
+-----+
(1) System Control Information
(2) System Power Supply
(3) System Fan
(4) System Temperature
(5) System Chassis Table
(6) System UPS
(7) System LED Control : off
(8) NIC Status Detection
Enter selection or type (0) to quit:
```

4. 以下のメニューから「(2) NIC Detection Timeout」を選択してください。

```
+-----+
|          NIC Status Detection                      page_1_3_8
+-----+
(1) NIC Status Detection : disable
(2) NIC Detection Timeout : 0
Enter selection or type (0) to quit:
```

5. 以下の画面で " 120 " を入力し[Enter]を押してください。

```
+-----+
|                                                     page_1_3_8_2
+-----+
NIC Detection Timeout(0 300 sec) : 0
Please Input New Value (Press enter to quit)
-->>
```

6. 以下のメニューで「(2) NIC Detection Timeout」の設定値が " 120 " になっていることを確認してください。

```
+-----+
|          NIC Status Detection                      page_1_3_8
+-----+
(1) NIC Status Detection : disable
(2) NIC Detection Timeout : 120
Enter selection or type (0) to quit:
```

## (2) Wrap Around Event Log Enableの設定変更

1. 以下のメニューから「(1) Management Agent」を選択してください。

```
+-----+
|          Console Menu                             page_root
+-----+
(1) Management Agent
(2) Emergency Management Port
(3) Console Redirection
(4) TFTP upgrade
(5) Logout
(6) Reboot Management Blade
Enter selection:
```

2. 以下のメニューから「(8) Event Log」を選択してください。

```
+-----+
|          Management Agent                         page_1
+-----+
(1) Management Agent Information
(2) Management Blade
(3) System Information
(4) Server Blade
(5) Switch Blade
(6) Username And Password
(7) Blue Screen
(8) Event Log
(9) Set System Default
(10) Server Blade CMOS Backup/Restore
(11) Deployment Parameter
(12) Power Consumption
(13) Modem Setting
Enter selection or type (0) to quit:
```

3. 以下のメニューから「(4) Management Blade Wrap Around Event Log Enable」を選択してください。

```
+-----+
|      Event Log                               page_1_8      |
+-----+
(1) Management Blade Event Log
(2) Server Blade Event Log Table
(3) Server Blade Power On/Off Event Log Enable : disable
(4) Management Blade Wrap Around Event Log Enable : disable
Enter selection or type (0) to quit:
```

4. 以下のメニューから「(2) enable」を選択してください。

```
+-----+
|                                                     page_1_8_4 |
+-----+
Management Blade Wrap Around Event Log Enable : disable
(1) disable
(2) enable
(0) quit
Enter selection :
```

5. 以下のメニューで「(4) Management Blade Wrap Around Event Log Enable」の設定値が「enable」になっていることを確認してください。

```
+-----+
|      Event Log                               page_1_8      |
+-----+
(1) Management Blade Event Log
(2) Server Blade Event Log Table
(3) Server Blade Power On/Off Event Log Enable : disable
(4) Management Blade Wrap Around Event Log Enable : enable
Enter selection or type (0) to quit:
```

(3) Modem User Define Initial Stringの設定変更

1. 以下のメニューから「(1) Management Agent」を選択してください。

```
+-----+
|      Console Menu                               page_root    |
+-----+
(1) Management Agent
(2) Emergency Management Port
(3) Console Redirection
(4) TFTP upgrade
(5) Logout
(6) Reboot Management Blade
Enter selection:
```

2. 以下のメニューから「(13) Modem Setting」を選択してください。

```
+-----+
|          Management Agent                      page_1
+-----+
(1) Management Agent Information
(2) Management Blade
(3) System Information
(4) Server Blade
(5) Switch Blade
(6) Username And Password
(7) Blue Screen
(8) Event Log
(9) Set System Default
(10) Server Blade CMOS Backup/Restore
(11) Deployment Parameter
(12) Power Consumption
(13) Modem Setting
Enter selection or type (0) to quit:
```

3. 以下のメニューから「(4) User Define Initial String」を選択してください。

```
+-----+
|          Modem Setting                          page_1_13
+-----+
(1) Fastest COM Port Baud Rate : 115200 bps
(2) Hardware Flow Control      : disable
(3) Modem Initial String Type  : standard modem
(4) User Define Initial String :
Enter selection or type (0) to quit:
```

4. 以下の画面で「AT&FE0X3V1」を入力し[Enter]を押してください。

```
+-----+
|                                     page_1_13_4
+-----+
User Define Initial String :
Please Input New Value (Press enter to quit)
-->>
```

**注意**

「AT&FE0X3V1」は必ず半角大文字で入力してください。

5. 以下のメニューで「(4) User Define Initial String」の設定値が「AT&FE0X3V1」になっていることを確認してください。

```
+-----+
|          Modem Setting                          page_1_13
+-----+
(1) Fastest COM Port Baud Rate : 115200 bps
(2) Hardware Flow Control      : disable
(3) Modem Initial String Type  : standard modem
(4) User Define Initial String : AT&FE0X3V1
Enter selection or type (0) to quit:
```

- 以上 -